

令和4年度広島市立図書館平和文化月間事業 「平和を感じられるおすすめ本を教えてください。」応募作品

枠外右の表示について、☆は広島市立図書館に所蔵なし ★は所蔵なし・出版情報が不明の本です。

令和5年11月 中央図書館作成

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
1	i	西 加奈子 / [著]	平和に生きていることの「あたりまえ」のありがたさを考えさせられる作品です。	栞
2	アイルランドの経験 「排除と包摂のはざままで」 (p245~)	後藤 浩子 / 編 尹 慧瑛 (ユン・ヘヨン) / 著	凄惨な北アイルランド紛争の政治的解決の要因である、関係者の態度の変化の経緯を具体的に詳述し、平和プロセスが世界戦争抑止にとって大きな勇気を与える	ウエ
3	アウシュヴィッツの図書係	アントニオ・G. イトゥルベ / 著, 小原 京子 / 訳	何もない深い絶望の中で、最後に人間生を保つよすがになるものは何か。文字や本を見る、読めることの果てしなさを感じられる。	おおでまり
4	青いかいじゅうと赤いかいじゅう	デイビッド・マッキー / 作, きたざわ きょうこ / 文	けんかをしている2人のかいじゅうが、お互いに相手をきずつけたことを反省し、仲良くなるほっこりする話です。	あおすみ
5	青い空がつながった	毛利 まさみち / 作, うめだ ゆみ / 絵	福島と広島 まるで離れた所にあってつながりはなさそうなのに…「平和」のジグソーパズルは一つの地域から日本に、世界中につながっていると考えさせられた。	ニャン子
6	アオギリのねがい	『被爆アオギリ二世』の絵本をつくる会 / 作・画	未記入	未記入
7	あかちゃんてね	星川 ひろ子 / 著, 星川 治雄 / 著	誕生から1年間の成長を綴った写真絵本です。生命の大切さを感じさせてくれる1冊です。	かえて
8	赤ヘル1975	重松 清 / 著	カープの話もあって笑える所もあり考えさせられることもある本	ぴよんきち
9	赤ヘル1975	重松 清 / 著	単にカープ初優勝の物語ではなく、戦後復興の象徴としてのカープが被爆者はもちろん、大人そして主人公の中学生達様々な目線での展開が面白い。	未記入

☆

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
10	あさになったのでまどをあけますよ	荒井 良二／著	朝、起きて窓を開ける。新しい空気を吸いこむ。静かな朝の一時、平和を感じる瞬間です。	未記入
11	あさの絵本	谷川 俊太郎／文, 吉村和敏／写真	静かに夜が明ける頃、空の色に合わせて海や湖、森や山々もゆっくりと目を覚ます。そして一日が始まる。新しい一日。真っ白な洗濯物が風になびく写真に、今日も何気ない平和な一日の始まった、そんな気持ちにさせてくれる絵本です。	かやさん
12	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら	汐見 夏衛／著	平和の大切さに気づく、はかない恋愛物語。	嵐さん
13	あひるの手紙	朽木 祥／作, ささめやゆき／絵	ほんまち小学校の1年生に、「あひる」とだけ書いてある手紙が届く。差出人のけんいちさんは、平仮名を覚えてばかりの青年だった。子どもたちとけんいちさんの文通を通じた交流に心が温まる、子ども向けの物語です。	未記入
14	アフリカの音	沢田 としき／作・絵	この絵本を開くと、ジャンベ（太鼓）の音が聞こえてきます。その音は、自分の中に奥深くある“生きる力”を呼びおこしてくれます。ジャンベの音で人々が生きるよろこびを共に感じる世界が描かれていて、平和の原点を感じる一冊です。	Y. H
15	あふりかのたいこ	瀬田 貞二／さく, 寺島竜一／え	トンガじいさん、タンボのうつたいこ じゅうをてばなせ。けものにまじれ。いのちのみずをのんで、いのちにめをさませ、ボンゴ、ボンゴ、ぼんご	未記入
16	アンの娘リラ	モンゴメリ／〔著〕, 村岡花子／訳	カナダのプリンス・エドワード島にやってきた孤児の「赤毛のアン」は愛されて育ち、やがて6人の子どもの母親となります。その子どもたちの青春時代に第一次世界大戦が始まります。初めは高揚した気分で戦争に協力しますが、次第に生活が戦争色に染まっていきます。その村の戦時の日常がリアルに描かれています。まるで読んでいる自分が村にいるようにイギリス本国の政治にヤキモキし、1日も早く戦争が終わるように願っていました。遠いバルカン半島で暗殺があった時、我が事と気づいていれば戦争に巻き込まれなかったでしょうか。	さくら

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
17	いしぶみ	広島テレビ放送／編	広島二中（現観音高等学校）の生徒の一人一人のその日（8月6日）の行動などが詳しく載っています。平和について考えてみてください。	木暮修子
18	いしぶみ	広島テレビ放送／編	ひとりひとりのことが、ていねいに、たいせつにかたられているほんです。	チャック
19	イチョウの大冒険	アラン・セール／作，ザウ／絵，松島 京子／訳	被爆したイチョウの木の逞しい生命力に希望が湧きました。	梶川芳文
20	一さつのおくりもの	森山 京／作，鴨下 潤／絵	相手のことを思いやる気持ちに心があたたかくなる一冊です。	I・A
21	いのちいっぱい	相田 みつを／著	人は生きていく中で、辛いことや悲しいことがたくさんあります。そんな時に相田みつをさんの『いのちいっぱい』を読むと、自然に気持ちがあたたかくなります。	未記入
22	いのちより大切なもの	星野 富弘／著	けがのため首から下が動かず口で絵筆を持ち描かれた花の絵手紙はやさしくてあたたかくて大切ななにかを思い出させてくれます。	N. K
23	うしろのしょうめん	内野 克美／写真	後ろ姿は物語る？ 何かに集中しているとき、物思いにふけるとき…その後ろ姿は無防備であるとともに、その状態を有弁に物語っているよう。そんな様々な表情を見せる後ろ姿に小さな平和を感じます。	おかちゃん
24	ウメップ	梅 佳代／著	独特の切り口で撮った写真は梅佳代ワールド炸裂！！「なんでそんなに泣いてるの？」「どうなってるの？」「何が起きたの？」と????が満ちています。平和だなあ～と実感する一冊です。	Kemi chan
25	うる星やつら	高橋 留美子／著	なんか毎日のように世界線がほのぼのしてて、「平和やなー」て思います。	☆あいうえお☆
26	うろおぼえ一家のパーティー	出口 かずみ／作	何もかもうろおぼえな一家と元気で明るいご近所さんたちの平和でハッピーなパーティーの本です。	うろおぼえの人
27	永遠の0	百田 尚樹／著	大切な人を守るために自分の命を犠牲にする人の強さを知ることができてとても感動しました。	ゆい

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
28	永遠の0	百田 尚樹／著	零戦の特攻隊員の過去を調べるうちに明らかになっていく人間像、インタビューの細部にあの大战を生き延びた歴史の証人の声が詰まっています。	Y・K
29	AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争	庭田 杏珠／著, 渡邊 英徳／著	広島のかつての姿が、白黒写真をカラー化したことで、人々の記憶を呼び覚ます。その時代を知らない者にとっても、現実味を帯びたものとして胸に迫ってくる。	未記入
30	エリカ奇跡のいのち	ルース・バンダー・ジー／文, ロベルト・インノチェンティ／絵, 柳田 邦男／訳	〈お母さまは、じぶんは「死」にむかいながら、わたしを「生」にむかってなげたのです。〉	未記入
31	えんとつ町のペペル	にしの あきひろ／著	友情や家族愛を感じられる大好きな作品です。とても感動する結末です。	未記入
32	お金のいない国	長島 竜人／著	お金のいない国がもしあったらどうなるか、争いがうまれないのではないか、という考え方がつまっていてとてもいい本だった。	未記入
33	おこりじぞう	山口 勇子／さく, 四国五郎／え	なんでせんそうなんてあるんだとおこるところ	すみっコぐらし (ペンギン)
34	おこりじぞう	山口 勇子／さく, 四国五郎／え	未記入	未記入
35	おちやのじかんにきたとら	ジュディス・カー／作, 晴海 耕平／訳	ソフィーとお母さんのお茶の時間に突然やって来たトラ。礼儀正しいけど大食い在家中の食べ物を食べてしまうのにビックリ。でも帰宅したお父さんが解決してくれて、平和な日常を感じます。	未記入
36	お父さん、だいじょうぶ? 日記 お父さん、まだだいじょうぶ? 日記	加瀬 健太郎／著	フリーカメラマンのお父さんが撮る家族の写真と文章で綴る日記。頼りないお父さんとなかなかのツッコミをするお母さん、そして個性豊かな子どもたちの日々に、プツとなったりほっとしたり…。	またさん

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
37	弟の戦争	ロバート・ウェストール／作，原田 勝／訳	今自分のいるここではないどこかで、でも確かに起こっている戦争。家族（弟）の姿を通して生々しく伝わってくる。無関心や慣れなど人ごととは思えず、強い印象が残った作品。	未記入
38	おとなになれなかった 弟 たちに…	米倉 齊加年／作	じどうかんでよんで主人公の男の子が弟のミルクをのんで、えいようぶそくになって死んだ弟がかわいそうでした。	ブルーといっしょ！ことあゆみより
39	おなじ月をみて	ジミー・リャオ／作，天野健太郎／訳	シンプルな絵本ですが、平和な世界がどれほど大切なのか、考えさせられました。あたたかい気持ちになりました。	ハル
40	おばけのおもちゃばこ	ジャック・デュケノワ／さく，おおさわ あきら／やく	おもちゃばこのぷりんせすがくもおきんいろにした	ひなた
41	おひさまとおつきさまのけんか	せな けいこ／作・絵	小さな子（2才～）にも平和やみんなとなかよくすることを考えるきっかけになる絵本です。	未記入
42	おまつり万歳！	たかぎ なおこ／著	色々なお祭りに行って！おいしい食べ物をたべて！みんな思い思いに楽しむ！これぞ平和だからできることですよね。もうすぐ！！	たかぎなおこおすすめさん
43	輝ける碧き空の下で	北 杜夫／著	戦争に運命をほんろうされる話です。戦争なんかやってはダメと思える。	マリキージャ
44	かげふみ 「たずねびと」（p141～）	朽木 祥／作	あやが広島にアヤちゃんをさがしに行く話	かん
45	かげふみ 「たずねびと」（p141～）	朽木 祥／作	自分と同じ名前だった女の子をさがす物語です。原爆がこわいことを改めて知れる1冊です。	まなちゃん

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
46	可部に舞い降りた落下傘	いくまさ 鉄平／文・絵， 可部まち物語つたえたい／ 制作	過去に起きた事として別世界のようにとらえがちですが、原爆は私たち広島の人達にとってずっと続いている現在だという事を広島弁や市民から聞いた話によって身近に伝えてくれています。今の問題でもあるのです。福島でのいくまささんの『かみしばい』活動もすばらしいものです。要注目!!	ワラタ
47	がまくんとかえるくんシリーズ	アーノルド・ローベル／ 作，三木 卓／訳	主人公のがまくんとかえるくん 性格は正反対の2人だけど、それぞれを思いやる心温まるお話がいっぱいです。お互いを認め合い、理解し合い、思いやる… 平和を叶える第一歩。	きみがいてくれて うれしいよ
48	きつときこえるよ	藤原 美香／作，村本 美香／作，瀧川 裕恵／絵	怖くないし、キレイ。A類型など、初めて知った。会いに行きたいと感じた。	未記入
49	キノの旅	時雨沢 恵一／著	生きていられる環境にいられることが有難いと思う。	×××××
50	木のまつり	新美 南吉／作，鈴木 靖将／絵	ほっこりするおはなしです。子どもも大人もおすすめです。	長ひょん
51	木はいいなあ	ジャニス・メイ・ユード リィ／さく，マーク・シー モント／え，さいおんじ さちこ／やく	春夏秋冬、木と共に人間は生活させていただいている。自然と共に日常を過ごせる幸せ	未記入
52	きみの存在を意識する	梨屋 アリエ／作	それぞれ抱えるものと向き合いながら生きていく登場人物がいて、自分に寄りそってくれるような感じがする。平和、とは少し離れるかもしれないが、前を向ける。	未記入
53	キャベツくん	長 新太／文・絵	はじめは、絵のタッチにびっくりしましたが、今では、出会えてよかった絵本です。平和だなと思える一冊です。	白ちゃん
54	きょうのごはん	加藤 休ミ／作	今日もおいしいごはんが食べられることに幸せを感じます。	未記入
55	くまモン、どこ行くの？	浅田 政志／写真，くまモン、どこ行くの？制作委員会／編著	くまモンが熊本県の各地を巡った写真集。名所、美しい自然、おいしい食べ物、そして地元の人々の笑顔にあふれた素敵の一冊です。ひょうきんで愛らしくくまモンの姿を見ると、心が平和になります。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
56	ぐるんぱのようちえん	西内 ミナミ／さく，堀内 誠一／え	ようちえんをひらくところ	マホリン。
57	くんちゃんとしじ	ドロシー・マリノ／さく，まさき るりこ／やく	大好きなくんちゃんシリーズ 約20年前に出会いました。（子育て中） 読み終えた後、ほっこりします！	しろちゃん
58	刑罰0号	西條 奈加／著	たとえ戦争を起こした人の上であっても、決して願わない。それが被爆地の思いだ。	未記入
59	原爆詩集	峠 三吉／著	この詩集には「その瞬間」の様子が比治山など広島の名所とともに描かれています。この詩集を手に市内散歩どうでしょう。2つの世界が見えはじめるはずです。アーサー・ビナード氏の解説もおすすめ。	未記入
60	原爆ドーム再生の奇跡	古川 修文／著	第1回原爆ドーム保存工事を率いた建築家、佐藤重夫の伝記。着工の際スズメの巣を撤去したことに罪の意識を感じていた佐藤が原民喜の「永遠のみどり」を思い出し、再読するエピソードに平和の大切さを感じる。	ゆーじ
61	幸福な質問	おーなり 由子／著	夫婦（？）愛を感じられる絵本です。「家庭内平和」ってことどうでしょう。	清
62	コタローは一人暮らし	津村 マミ／著	コタロー君がなぜ一人暮らしをしているのかという過去の話や、隣人とのつきあい方でほっこりするような作品になっています。コタロー君の行動が、何を意味するのかもみりよ的です。	未記入
63	こども「折々のうた」100	大岡 信／著，長谷川 權／監修	自然を感じられる詩歌が多くあり、解説も読みごたえがあります。大自然や歴史から、平和の良さ、感じませんか？ *戦争に関わる作品の収録もあります。	未記入
64	子どもの本で平和をつくる	キャシー・スティンソン／文，マリー・ラフランス／絵，さくま ゆみこ／訳	子どもには食べ物同様に本も必要だ、と戦争を体験したイエラ・レップマンは信じていました。—子どもたちにとって本がどんなにすばらしいものか—主人公の姉弟ぐらゐの年齢の小学生にも読んでもらいたい絵本です。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
65	この世界いっぱい	リズ・ガートン・スキャンロン／文, マーラ・フレイジー／絵, 長田 弘／訳	貝をひろい、木に登り、トマトが実り、空が荒れる。おいしい匂いの夕食、寒い日の暖かい暖炉の火… 感じ、見るすべてのものがあなたとわたし。何気ない日常の繰り返しがかきっと平和なのかと、その平和がこの世界いっぱいになりますように。「この世界いっぱいわたしたちみんな」この最後のことばにジーンとします。	やまちゃん
66	この世界の片隅で	山代 巴／編	今まで読んだ原爆の本の中で最も生々しく、そして最も悲惨な人々や医療関係者の率直な意見が記されており、なぜ今まで読んでいなかったのか！と後悔してしまったほどの一冊です。山代巴さんのことは、この史代さんのことを書いた本で知り、この本に出会いました。	未記入
67	このせいかいのかたすみに	ここの 史代／著	主人公が戦争でどんな思いでどうすごしたのかが分かりやすくよみやすいです	未記入
68	この世界の片隅に	ここの 史代／著	柔らかくて可愛らしい絵柄で戦時中の暮らしや当時の人々の生活が描かれている。アニメ映画化もされている作品。マンガなので色んな人が読みやすいかも。	未記入
69	この世界の片隅に	ここの 史代／著	マンガで読みやすいから	未記入
70	この世界の片隅に	ここの 史代／著	戦時中の呉市を舞台に、主人公のすずさんと周りの人たちの暮らしを丁寧に描いています。戦争で苦しい状況の中でも支えあい前向きに生きていく人達の姿に平和の大切さを感じます。	未記入
71	この世界を知るための大事な質問	野澤 巨伸／著	この世界でおきている現実を知ること、考えることができる本です。	未記入
72	ごはんのおとも	たな／著	美味しいごはんを大切な人と食べる幸せ。平和であってこそだなと感じられる本です。	未記入
73	ごめんねぼっこ	山下 夕美子／著, 太田 大八／絵	ヒロシマが舞台。「ごめんね」を言わないときめている夏平と、夏平が「ごめんね」を言えるようになるのを見はりにきたぼっこの話。二人の楽しいやりとりと、友達・先生・ひばく者のおばあさんとの交流をえがいている。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
74	塞王の楯	今村 翔吾／著	戦が避けられない時代にあっても、それぞれの立場でそれぞれの出来ることで平和を築こうとする人達の決意や迷いを感じることができ、現在は何も考えなくても平和でいられることのありがたさを実感するとともにこの平和が続いていくためには、皆が平和について考え続けることが必要だと思いました。	未記入
75	さがしています	アーサー・ビナード／作, 岡倉 禎志／写真	本当にさがしています の一言	れいばあちゃん
76	サザエさん	長谷川 町子／著	値上げなど、現代と同じように、色んな大変なことがあった時代。でも、明るく、楽しそう。	未記入
77	雑草たちよ 大志を抱け	池辺 葵／著	地味で目立たない少女たちの毎日、でも友達存在に背すじがのびることがある。穏やかな大切な日々の物語。	未記入
78	じいじ、ばあば	よねやま ひろこ／文, りお／絵	読むとほっこりするののでいやされます。えもかわいくておすすめで	りんごちゃん
79	ジ・エンド・オブ・ザ・ワールド	那須 正幹／著	核戦争後の世界の絶望的な状況を描いた恐ろしい小説であり、かつ、そこにいきつくまでに作中の日本で起きた事にも触れている点も秀逸である。	未記入
80	縞模様のパジャマの少年	ジョン・ボイン／作, 千葉茂樹／訳	少年たちの友情に胸が熱くなります。戦争、平和について深く考えるきっかけになりました。	もち吉
81	ジャージの二人	長嶋 有／著	親子が二人、ジャージで生活している小説。なにも起こらない。ただ暮らしている。人が居る。ただ生活している。それが平和なのだ。	そび
82	いびきのねこ	馬場 のぼる／著	□△○	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
83	シュモーおじさん	とがわ こういちろう／ 文・絵，シュモーに学ぶ会 ／制作，エリザベス・ボ ールドウィン／英訳，小泉 直子／英訳	平和への思いを分かりやすく、英文でも加えてあり、なんとも優しい 絵、水彩が美しいステキな1冊	トマト
84	地雷ではなく花をください	葉 祥明／絵，柳瀬 房子 ／文	戦争が終わってからも、地雷でケガをする人は後を絶ちません。地雷 撤去を呼びかける絵本です。シリーズで5冊あります。	未記入
85	水滴	目取真 俊／著	第二次世界大戦の時、地上戦がおこなわれた沖縄。戦場は戦争が終わ れば生活の場に戻る。しかし死んでいった人たちへの思いは忘れたよ うで消えてはいない。	さくら
86	スティーヴ・マッカーリーの 「読む時間」	スティーヴ・マッカーリー／ 著，渡辺 滋人／訳	読書する人達の写真集です。見ているだけで幸せな気持ちになれま す。世界中、どこでもこの光景が見られる日が来ますように。	未記入
87	せかいいちつくしいぼく の村	小林 豊／作・絵	戦争の中でも力強く生きていく姿がふつうに描かれている。終わりの ページもステキ	絵本大好き saechan
88	せかいでいちばんつよい国	デビッド・マッキー／作， なかがわ ちひろ／訳	平和とは、幸せとはを考えさせられる一冊です。	くう
89	せかいでいちばんつよい国	デビッド・マッキー／作， なかがわ ちひろ／訳	強い兵力を持った強い国が、兵隊を持たない小さな国に攻め入ったら …という絵本。大人目線で見ると、現実にはこうはいかないなあ…な んていろいろ考えさせられます。子どもでも大人でも戦争について、 平和について考えることのできる1冊です。	うどんおいし い
90	世界の「こんにちは」	東京外国語大学アジア・ア フリカ言語文化研究所／監 修	115の言語でいろんな「こんにちは」 いくつか、声に出して笑顔でそ の国の人にあいさつしてみたい ○○○○○！	未記入
91	せかいのひとびと	ピーター・スピアー／えと ぶん，松川 真弓／やく	他の国の人とわかりあうための心のものさしが広がる本です。	あっくんママ

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
92	ゼレンスキー大統領、世界に向けた魂の演説集	ゼレンスキー／〔述〕， 「ウクライナ侵攻」分析班／編	他国の支援がないと戦争が世界に拡大とする危機感	ウエ
93	戦艦武蔵の最後	塚田 義明／著	私はこの本に出合った事をきっかけに、戦争とは少しもかっこいいものではない事を知った。もしこの物語を読まなかったら、愚かな軍事マニアになってしまったかもしれない。この本は三部作の二作目であり、『海の城』『砕かれた神』もおすすめである。	未記入
94	せんそうしない	たにかわ しゅんたろう／ ぶん，えがしら みちこ／ え	世界で言葉の矛盾がおきている今だからこそ大切なことはなにかと考 え、受け止めることができると思います。	未記入
95	戦争めし	魚乃目 三太／著	大変苦しくつらく大変なときにほんの少しの食べものが、懐かしいあ なたたかな記憶や思い出として残っている。	ちゃちゃ
96	戦争をやめた兵士		未記入	未記入
97	その本は	又吉 直樹／著，ヨシタケ シンスケ／著	“第12夜”がおすすめです。大学の時にゼミの教授から教わった「無 用の用」という言葉を思い出しました。「小さい小さい、でもかすか に存在する可能性を信じて。」（本文P175引用）	poplar
98	ゾマーさんのこと	パトリック・ジュースキ ント／著，ジャン＝ジャッ ク・サンペ／絵，池内 紀 ／訳	淡々と描かれている中に、ゾマーさんの背景の重苦しさがせまる。人 は人を簡単には語れない。戦争体験という絶望感に触れる。	おおでまり
99	ソーリーとウーツンの読書 会	ケイコ・ムラオカ	主人公はトランスジェンダーの男性（職業はお弁当屋さん）、親友の ウーツンは進学塾の講師の女性、登場人物は二人だけの演劇用のシナ リオによる作品。時代設定コンピューターの2000年問題に移行する 前年のXmasの頃。今でこそLGBTQのことは幅広く認知されているが TVでとりあげられるLGBTQ以外のもっと地味で現実的な人物像やセ リフの洒脱さにはおどろき！ぜひどこかで上演してほしい。	Mr.ハー ヴェイ



	書名	著者名	コメント	ペンネーム
100	たいせつなこ	さももか	たいせつにすること	未記入
101	旅のネコと神社のクスノキ	池澤 夏樹／文, 黒田 征太郎／絵	保存が決まった広島 of 被爆建物、旧陸軍被服支廠。その傍の神社のクスノキと旅のネコが対話をするという内容の絵本です。対話を聴いている内に、想像力が働かされ始めます。一人ひとりが旧陸軍被服支廠と対話をしよう…。そう促されているようにも感じました。	ひまわり
102	ちいさなねこ	石井 桃子／さく, 横内 襄／え	こねこのだいぼうけん なにげない日常にいやされます	未記入
103	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	かぞくといっしょにいられるしあわせさ	未記入
104	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	未記入	未記入
105	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	未記入	未記入
106	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	せんそうで亡くなった家族を思い、ちいちゃんが、かげおくりをする所。	ひなちゃん
107	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	学校でやっていて見ていたらかわいそうな気持ちになりました。	さん子
108	ちいちゃんのかげおくり	あまん きみこ／作	学校のじゅぎょうでちいちゃんのかげおくりをべんきょうして平和だなと思いました。	M
109	月と珊瑚	上條 さなえ／著	沖縄県の現状や人々の関係・関わりを描いた話。切り離せない過去を忘れず、未来に向かって歩む気持ちになれます。	てつてつ
110	土のふえ	今西 祐行／作, 沢田 としき／絵	北の国のへいたいはひつじかいを先とうに、南の国のへいたいは牛かいをせんとうに、ふえをふきながら山をのぼりました。ふたつのふえの音はだんだんちかづき、やがてちょうじょうでひとつになりました。	未記入
111	ツナグ	辻村 深月／著	人と人のつながり、会えない相手を想う気持ちを書いた小説です。苦しみ、もがき、それでも愛す人々と共に涙することができます。辻村節のつまった一冊、ぜひ読んでみてください！！	未記入



	書名	著者名	コメント	ペンネーム
112	つるかめつるかめ	中脇 初枝／文, あずみ虫 ／絵	元気の本だからです	けいいち4さい
113	デモンとピシラス (鈴木三重吉童話全集 第 8巻収録)	鈴木 三重吉／著	太宰治『走れメロス』にも似たお話。生命を差し出し友人を信じ待ち続けるデモンと、友人との約束を守るため自らの死をいとわないピシラス。彼らの強い信頼でつながる友情に触れ、人を信じることができないう為政者に変化が生じる場面に平和が感じられます！	かん
114	手から、手へ	池井 昌樹／詩, 植田 正 治／写真	やさしい父とやさしい母が「やさしい子らよ」と伝える詩と写真の本。写真家植田さんは鳥取県出身。結婚する子どもに贈った本。	未記入
115	ともだちのしるしだよ	カレン・リン・ウィリアム ズ／作, カードラ・モハ メッド／作, ダーク・ チャーカ／絵, 小林 葵／ 訳	ともだちのことをおもいやる気持ちをおしえてくれるから	未記入
116	ともだちひきとりや	内田 麟太郎／作, 降矢 なな／絵	○□△ 子どもが好きな絵本	未記入
117	ドラえもん	藤子・F・不二雄／著	悪役でもそんなに悪いやつじゃないことが多くて、いろいろな秘密道具が出て来ておもしろい！	マンガ大好き
118	ドラゴン、家を買う。	絢 薔子／作画	気が弱くて優しいドラゴンが、自分が安心して住める家を探すために旅にでます。戦うことが大嫌いなドラゴンは勇者たちなどに追いかけられたり、大変だけど頼もしい仲間たちと楽しい旅をつづけます。クスッと笑える作品です。	未記入
119	ナイチンゲール		びょうきの人をたすけた所。	未記入
120	永井隆のことば	永井 隆／絵・文, サンパ ウロ／編集	原爆に被爆し市民の治療に献身した医師として、平和をもたらす愛の力や願いの持続発展を強調	ウエ
121	中島らもエッセイ・コレク ション (今日の天使)	中島 らも／著, 小堀 純 ／編	とにかく、ほっこりします。戦争のひさんさをあらため感じるのではなく平和があたりまえの目で見ればよいなと思います。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
122	なぜ、おきたのか？	クライヴ・A. ロートン／作，大塚 信／監修・訳，石岡 史子／訳	その時のじょうきょうや、しゅうようじよのなかにいた人の話などが書いてあるので悲さんさがよく分かる。	田
123	なまえのないねこ	竹下 文子／文，町田 尚子／絵	ねこがほしかったものは、なまえでは、なかった…。	ローズ
124	にぐるまひいて	ドナルド・ホール／ぶん，バーバラ・クーニー／え，もき かずこ／やく	自然と共に、丁寧な生活を送る家族の姿が、大切なことを教えてくれます。	のんびり屋
125	虹の鳥と子どもたち	阿波 ひろみ／著，奈良環／イラスト	物語が進むにつれて子供たちが行動を起こしますが、その行動がどのようなものかを具体的に知ることができます。また、子供たちの行動で虹の鳥がどう変わったか分かるように平和によって何が生まれるかを自分なりに考えることができました。	K. S.
126	日常	あらゐ けいいち／著	日常の中にある <u>ありえない</u> こと、コメディが描かれていて、こんな毎日だと楽しくて平和だなと思う漫画です。	みひろ
127	にほんの海	鍵井 靖章／著	北海道から沖縄までの日本の海の写真集です。カラフルな海から流水まで様々な海を見ると、自然の雄大さを感じます。平和であるからこそ、守れる自然もあります。あざやかな海を見れることは、平和だなと思います。	うみのこ
128	ねえ、ぴよちゃん	青沼 貴子／著	主人公のぴよちゃんは小学3年生の元気な女の子です。仲良しの飼い猫の又吉、家族、友達とのほのぼのとして楽しい日常が描かれています。	未記入
129	ねことじいちゃん	岩合 光昭／著	映画「ねことじいちゃん」の写真集です。のどかなネコの姿にいやされます。ネコのおだやかな表情はまさに平和そのものです。	未記入
130	ねことじいちゃん	ねこまき／著，ミュージックワーク／著	猫のタマと二人暮らしのおじいちゃんの毎日の生活が描かれていて、ほっこりします。平和だからこそ、幸せな日々を送ることができると思います。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
131	ねこのオーランドーたのしい日々	キャスリーン・ヘイル／さく，こみや ゆう／やく	泣いても笑っても家族の幸せは大事。平和の源。	未記入
132	ねずみくんのチョコッキ	なかえ よしを 作，上野紀子／絵	色々な動物によってのびるけど、ねみちゃんに作り直してくれるのでほっこりした。	3人兄弟
133	熱血メルヘン 怪傑アンパンマン	やなせ たかし／作・絵	このお話の元になったのはやなせさんが子供の頃、知らない街にいった時、財布をおとして心細い思いをしたのがきっかけで、探しにきてくれた親と帰りの車で食べた「あんぱん」がとてつもなく美味しかったということ。ジャムおじだんのこしらえたパンの人形「あんぱんまん」に命が宿り（なんと原作では8頭身だったのです！）、おなかをすかせた人達に本の中で2人の双子の女の子に食べてもらったら、「不思議だな、顔を誰かに食べられることがこんなにも気分がいいなんて」という「あんぱんまん」のことはとっても印象的	「テルプ」のどん百姓
134	ねんどの神さま	那須 正幹／作，武田 美穂／絵	「戦争を起こし、戦争で儲ける者をやっつける神」としてある少年につくられたねんどのかみさまが、大人になって「死の商人」となってしまった少年と再会する悲しい物語。ラストシーンは非常に衝撃的だった。	未記入
135	ねんどぼうや	ミラ・ギンズバーグ／文，ジョス・A. スミス／絵，覚 和歌子／訳	ロシアの民話です。小さいねんどぼうやが自分の食欲の為にどんどんまわりの人・物を食べていく物語	未記入
136	バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ／著，銀杏早苗／絵	読み終えてバウムクーヘンを手にすると、自然と平和やヒロシマ、ひたむきに生きた菓子職人ユーハイムさんに思いをはせる一。そんなお話です。	むめ
137	バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ／著，銀杏早苗／絵	ユーハイムの一生を知ることによりバウムクーヘンを食べられることに平和を感じられるようになりました。	カン

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
138	はじまりの日	ボブ・ディラン／作, ポール・ロジャース／絵, アーサー・ビナード／訳	ボブ・ディランの曲Forever Youngが絵本に。訳がとてもいい！！「毎日がきみのはじまりの日」この言葉にジーンとします。勇気、希望にあふれた一冊です。	たけ
139	はだしのゲン	中沢 啓治／著	平和の大切さや家族の大切さがこのシリーズで一気に分かります！	どーなつが好き！
140	はだしのゲン	中沢 啓治／著	とにかく分かりやすい。マンガでよみやすい。	未記入
141	はだしのゲン	中沢 啓治／著	ゲンのたくましさが心を動かされます。	未記入
142	はだしのゲン	中沢 啓治／著	・かんどう ・ちょっこわい	こた
143	はだしのゲン	中沢 啓治／著	おかねがないこととかに気づけやすい。	田中そうま
144	はだしのゲン	中沢 啓治／著	戦争のことがよく分かって悲しい気持ちになります。おもしろくて何回も読みたくたります。	ちーちゃん
145	はだしのゲン	中沢 啓治／著	学校でやおしえてもった	ゆ衣
146	はだしのゲン	中沢 啓治／著	かなしいおはなし	植木ばち
147	はだしのゲン	中沢 啓治／著	とくにない	未記入
148	はだしのゲンわたしの遺書	中沢 啓治／著	はだしのゲンで有名な著者の死の直前の思いが書かれた本です。これから被爆者がいなくなる中で、あの日の原点的・バイブル的本だと思えます。	未記入
149	8月6日のこと	中川 ひろたか／文, 長谷川 義史／絵	幼児や小学校低学年の子にも戦争のこと、原爆のことを教えることができました。	りの
150	8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心	美甘 章子／著	至近距離で被爆しながら生存された著者の父の壮絶な物語です。涙が止まらず、一気読みしました。大変貴重な本だと思えます。	未記入
151	パパ ママ バイバイ	早乙女 勝元／作, 門倉 詠／詩, 鈴木 たくま／画	戦争は戦場で起こっているのだけではなく戦いによる被害は、いつ、誰にでも起こりうると改めて知らせてくれる本です。	chuma
152	はらぺこあおむし	エリック・カール／さく, もり ひさし／やく	おなかをこわすほど沢山おいしいものが食べられる、幸せを感じます。	年中減量中の人

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
153	パンプキン！	令丈 ヒロ子／作	おいしいものを食べることが出来る幸せといった身近な幸せに気付くところがおすすめです。	未記入
154	パンフルートになった木	巢山 ひろみ／文，こがし わ かおり／絵	小学校の校庭で子どもたちを見守り続けた一本の木がパンフルートという楽器に生まれかわって、子どもたちと一緒に明るい歌をひびかせます。その木が子どもたちとずっと歌ってられる世界が続くように願わずにはられません。	未記入
155	パンやのくまさん	フィービ・ウォージントン ／さく・え，セルビ・ ウォージントン／さく・ え，まさき るりこ／やく	朝早く起きて、仕事場でその日最初の紅茶を飲む。1日しっかり働いて夜あたたかなおうちに帰って眠る。くまさんの穏やかな毎日が幸せだなと読むたびに思います。	marie
156	ひいばあのチンチンでん しゃ	さくらい ともか／著	ひいおばあちゃんと電車のなぞ…。戦争・平和・女性・電車の運転と子どもも大人も楽しめる絵本。	チシヤキー
157	ピカドンたけやぶ	はら みちを 作・絵	ここにこんなことしたんだなどかんじられる。	未記入
158	一つの花	今西 祐行／著	このお話を読んで今をふりかえると今は平和だなと感じられます。	未記入
159	一つの花	今西 祐行／著	駅のすみにあった一つの花でゆみ子が笑顔になる所がおすすめです。	ちゃんな
160	ひねもすのたり日記	ちば てつや／著	生きていられることへのありがたさを感じる	未記入
161	ヒロシマ消えたかぞく	指田 和／著，鈴木 六郎 ／写真	本当に生きていた家族	れいばあちゃん
162	広島昭和二十年	大佐古 一郎／著	昭和二十年の正月から年末までの日記をまとめたものです。戦時中の様子がリアルタイムで伝わって来ます。8月6日までのカウントダウンがされているようで、ページをめくっているとだんだん怖くな(り)ます。平和な現在にこの日記をめくって見ていると、いかに戦時中の生活が異常なものであったか、そして人々の考え方が異常であったのが、自分にひしひしと伝わって来ます。	イオム
163	広島第二県女二年西組	関 千枝子／著	実録だから一人ひとりのあの日の記録ききとりが具体的	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
164	ひろしまのエノキ	崎 源之助 作, 二俣 英 五郎/絵	がっこうでよんだとき、へいわをかんじました。	しゅり
165	ひろしまの満月	中澤 晶子/作, ささめや ゆき/絵	平和を感じ、戦争のおそろしさを教えてくれる本だと思いました。私は最後の場面のための「戦争はかなしみのもとです。」という言葉に、とても、共感しました。たしかに、戦争はかなしいことしかなくて、メリットなんて何もないと思いました。	すー
166	ヒロシマを生き抜いて Part1.Part2	ノーモア・ヒバクシャ継承 センター広島/〔編〕	被爆当時15歳だった切明千枝子さんの証言集。少女の目線で著された貴重な体験記。 Part2は保存が決定した被服支廠について詳しく知ることができません。被爆者の平和を願う気持ちを「継承」するのは今を生きる私たちと感じさせてくれます。ロシアによるウクライナ侵攻で核の危険性が高まる今こそ、読むべき必読の書です。	アスカ
167	豚の死なない日	ロバート・ニュートン・ ペック/著, 金原 瑞人/ 訳	少年が大人になること、生きるということを考えさせてくれる本。質実に生きる、厳しい自然の中で生きる、父と子の物語	未記入
168	ふたりのイーダ	松谷 みよ子/作	初めて読んだのは何十年も前ですが、何度も読み返しています。読むたび（自分のライフステージにより）視点が変わり考えさせられることも多いです。戦争・原爆により、当たり前前の日常や大切な人が失われてしまうことについて考えさせられる本です。	未記入
169	ふたりのイーダ	松谷 みよ子 作	未記入	未記入
170	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル/ 作, 三木 卓/訳	がまくんとかえるくんのお互いを思いやる気持ちにとってもほっこりして私も幸せな気持ちになります。世の中の人々が皆お互いを思いやることができればきっと平和な世の中になると思うのですが…。	かえる大好き きっ子
171	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル/ 作, 三木 卓/訳	がまくんとかえるくんのほのぼのとしたやりとりに心がほっこりします。がまくんとかえるくん以外の動物たちも優しく平和な世界です。	がまくんとか えるくんの母

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
172	へいわってすてきだね	安里 有生／詩, 長谷川 義史／画	沖縄の全戦没者追悼式で小学1年生の安里有生君が朗読した詩「へいわってすてきだね」に絵本作家の長谷川義史さんが絵を描いた絵本です。あなたの心にまっすぐとびこんでくる絵本です。	ひろしまのおばあ
173	へいわってどんなこと?	浜田 桂子／作	「きつとね、へいわってこんなこと。」身近なことから感じられる平和。小さな子どもさんにも読んで欲しい絵本。	未記入
174	へいわとせんそう		へいわになれそう	ももか
175	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう／ぶん, Noritake／え	平和と戦争の気持ちや行事のちがいが分かります。	イカチャン
176	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう／ぶん, Noritake／え	絵本で平和と戦争が考えられる本だと思う	もっち
177	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう／ぶん, Noritake／え	「へいわのボク せんそうのボク」シンプルな絵ながら、ハッとさせられるページの連続です。	未記入
178	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう／ぶん, Noritake／え	平和のボクや家族、戦争のボクや家族が見開きで対照的に簡潔に描かれ、その違いに心を打たれます。何気ない平和な日常の大切さを改めて感じられます。戦争を知らない世代でも内容がスッと説得力を持って入ってくる作品です。	表彰され女
179	ぼくからみると	高木 仁三郎／ぶん, 片山 健／え	ある夏の日のひょうたん池 次々と視点が変わり見える風景も違ってくる。でもやっぱりいつものひょうたん池。変わらない日常とそれぞれの視点 どちらも平和の為に大切にしたいものです。	未記入
180	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川 義史／作 絵	私たちのあたりまえの日常は、他の国の日常とはちがうことを感じられ、平和の大切さを考えさせられます。	かいちゃん
181	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川 義史／作・絵	家で普通にご飯が食べられること あたりまえがあたりまえでないことなど、いろいろ考えさせられます。	未記入

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
182	ぼくと弟はあるきつづける	小林 豊／作・絵	小林豊さんの細やかで美しい絵おだやかな絵から悲惨さは伝わりませんがじっくり読むと兄弟がけんめいに生きているのが伝わって泣きそうになります	未記入
183	ぼくの描いた戦争 漫画が語る戦争	手塚 治虫／著	どちらの本も戦争の悲惨さがよく伝わり平和の大切さが実感できました。	未記入
184	星の輝き、月の影	じんの あい／著	東日本大震災の福島を舞台にしたマンガで、大事な人やふるさとを失いながら前に進んでいく人たちを描いています。明日は当たり前にやってこないこと、それでもあきらめない主人公たちの姿に平和の大切さを実感します。	未記入
185	ほどほど快適生活百科	群 ようこ／著	もろもろの生活全般にわたっての百項目。「やってみたい」「役に立った」と思うことがあればラッキー…♡	未記入
186	マコちゃん絵日記	うさくん／著	好きな人と恋をしたり、自分の良識を信じて行動する。そんな日常に平和を感じました。	S.C.P.S
187	まちんと	松谷 みよ子／作	未記入	未記入
188	マララ物語	レベッカ・L. ジョージ／ 文, ジャンナ・ボック／ 絵, 西田 佳子／訳	学校にいけなくなったこと。	プリン
189	みい子セレクション～涙ぼ ろり感動編～	おの えりこ／著	「みい子シリーズ」の中から、広島を舞台にしたお話が入っている一冊。初めて広島に行くことになった小学5年生のみい子は、平和公園でちえ子と名のる女の子に出会い、不思議な体験をします。みい子が「あたりませの幸せ」に気付く短いお話ですが、平和の大切さについて、分かりやすく描かれていて小学生におすすめです。	未記入
190	水子の譜	上坪 隆／著	知らなかった満州の真実。義母の体験がよく分かりました。	育子
191	水を招く	中山 博喜／〔撮影〕	パキスタンとアフガニスタンで活動していた故中村哲医師とその仲間の様子を撮ったフォトエッセイです。地道な活動に勇気をもらえます。	もみじ

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
192	南の島に雪が降る	加東 大介／著	加東大介をご存知ない方も 戦争という非日常の時代に生き抜いた人々の心の糧となったものは？ ぜひご一読ください	まっくろくろすけ
193	娘よここが長崎です	筒井 茅乃／作, 松岡 政春／写真, 保田 孝／写真	父永井隆の娘として、被爆体験を母の立場で平和の尊さを次世代に継承	ウエ
194	ムーミン谷の仲間たち	トーベ・ヤンソン／著, 山室 静／訳	「それがあんたのわるいところよ。たたかうってことをおぼえないうちは、あんたには自分の顔はもてません」ミーの言葉ですが、同調して周囲に合わせることは、とても楽だけど、それは同時に自分を無くしていることに気づかされる。意見を持ち、生ぬるい世の中に喝を入れる強い人でありたい。	ムーミン谷に引っ越したい人
195	もういちどそのことを、	五味 太郎／作・構成, 寺崎 誠三／写真	心がおだやかでいられない昨今、いまひとたび、気持ちをおちつけて、自分を見つめ直す手助けに。	酒井貴子
196	モモのこねこ	やしま たろう／作, やしま みつ／作, やしま たろう／絵	人にこねこをかけたから。	たかもりりな
197	よあけ	ユリー・シュルヴィッツ 作・画, 瀬田 貞二／訳	夜明け前の静かな時間は穏やかな気持ちにさせてくれます。朝日が出た時が絶景です！！	ちょっと低血圧
198	ようかい村のようかいばあちゃん すみれちゃんとようかいばあちゃん	最上 一平／作, 種村 有希子／絵	すみれちゃんとひいばあちゃん⇔ようかいばあちゃんのととても心温まるお話です。ほっこりします。☆ちなみにひいじいちゃん⇔ようかいじいちゃんも、あります。	がんちゃん

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
199	よこいしょういちさん	かめやま えいこ／ぶん・え	昭和世代なら誰もが知るその名前と「恥ずかしながら、生きながらえて帰ってまいりました」という横井さんの言葉、しかし、その昭和世代も戦争について、自分の子ども達に実際の所を伝えることは難しい。横井さんの生涯を通して、戦争が1人ひとりの人生に与える影響の大きさや悲惨さを感じとって貰える絵本だと思います。全編切り絵と作者の暖かい思いで作られた絵本から、子ども達やその親子さんにも、命があること、平和に生活出来る事への感謝の気持ちも思い出させてくれる絵本になると思い、推薦させていただきます。	未記入
200	ヨーロッパ家族旅行奮闘記	小川 克也／著	コロナも戦争もなかった数年前までは、自由に家族で海外旅行に行けたことを思い出させてくれます。	カン
201	ラスト・チェリー・ブロッサム	キャサリン・バーキン ショー／作, 吉井 知代子／訳	原爆が落とされる前と後の生活が一変する様子がよくわかる	未記入
202	るきさん	高野 文子／著	るきさんの何気ない日常が描かれていて、それだけなのに手離なせない1冊です。	未記入
203	ルピナスさん	バーバラ・クーニー／さく, かけがわ やすこ／やく	世の中をもっと美しくするためにルピナスさんがしたこととは…？ 優しい気持ちになれる絵本です。	未記入
204	ルピナスさん	バーバラ・クーニー／さく, かけがわ やすこ／やく	ルピナスさんはルピナスの花でいっぱいにしたけれど「世の中をもっとうつくしくするために何かをする」と世界中の人々が思っていれば、世界はきっとうつくしく、平和になる。	未記入
205	れくいえむ	郷 静子／著	女子高校生の素直で優しい心根を戦争が侵蝕していくストーリーです	Bach

	書名	著者名	コメント	ペンネーム
206	若草物語	オルコット／作	お父さんが戦地に行っており、家も裕福ではありませんが、四姉妹が周りの人々や日々のちょっとした出来事を通して少しずつ成長する様子が私たちに明るい気持ちを届けてくれます。若草物語は四姉妹が子どものころから大人になるまで描かれているので、ぜひ全巻読んでみてください。	Y. K.
207	わたしの1ヶ月1000円 ごほうび	おづ まりこ／著	日々の仕事の中で、楽しみなことがあると頑張れる！そう思わせてくれる本です。	よぢ